

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年11月26日(2020.11.26)

【公開番号】特開2019-97745(P2019-97745A)

【公開日】令和1年6月24日(2019.6.24)

【年通号数】公開・登録公報2019-024

【出願番号】特願2017-230168(P2017-230168)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月19日(2020.10.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が移動可能な遊技領域が設けられた遊技盤を備え、

遊技球の移動経路として、

特定位置の遊技球が流下可能であり、遊技球を検知可能な検知部が設けられた検知経路と、

前記特定位置よりも左方または右方の一方の位置の遊技球が流下可能な一方経路と、

前記一方の位置とは異なる他方の位置の遊技球が流下可能な他方経路と、を有することを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機であって、

前記一方経路は、前記検知経路の前方または後方を横切って前記他方経路へと合流していることを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項2に記載の遊技機であって、

前記一方経路は、前記他方に屈曲した屈曲箇所を有し、前記屈曲箇所よりも下流にて前記検知経路の前方または後方を横切っていることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明に係る遊技機は、

遊技球が移動可能な遊技領域が設けられた遊技盤を備え、

遊技球の移動経路として、

特定位置の遊技球が流下可能であり、遊技球を検知可能な検知部が設けられた検知経路と、

前記特定位置よりも左方または右方の一方の位置の遊技球が流下可能な一方経路と、

前記一方の位置とは異なる他方の位置の遊技球が流下可能な他方経路と、を有することを特徴とする遊技機。

とを特徴とする。